



休眠預金を活用した事業がはじまります！

2019年度

実行団体公募説明会

「評価」に関する説明



公益財団法人
長野県みらい基金



本日覚えていただきたいこと

- ①休眠預金の実行団体には「事業評価」が求められること
- ②評価には「社会的インパクト評価」という手法が用いられること
- ③実行団体決定後には、みらい基金と共同で評価計画書を作る必要があること



1. 休眠預金等活用における「評価」の必要性和意義
2. 休眠預金等活用における「評価の枠組み」の全体像
3. 「評価指針」とはなにか？
4. 評価指針
 - 4-1. 社会的インパクト評価の定義と目的
 - 4-2. 社会的インパクトの定義（参考）
 - 4-3. 社会的インパクト評価の流れ（個別事業）
 - 4-4. 社会的インパクト評価のプロセス
 - 4-5. 社会的インパクト評価の原則（参考）
 - 4-6. 評価基準の6つの領域と評価項目
5. 評価を実践し全体のレベルアップを目指します
6. おわりに



1. 休眠預金等活用における 評価の必要性和意義①



休眠預金を活用すると、なぜ「評価」が必要なのですか？

→ 当該制度の基本方針で定められています



① 「評価」の必要性和責務

- 休眠預金は国民の資産です。その活用にあたっては、最終的に社会の諸課題の解決を図るという「成果」を国民に目に見える形で生み出すことが求められます。
- このため、事業のプロセスの透明性や適正性の確保、事前に達成すべき成果の設定とその達成度合いを重視した評価（後述：専門的に「社会的インパクト評価」と称される）を実施し、成果をみえるようにします。



② 「評価」の意義

- 資金分配団体、実行団体にとっても、評価は、事業の進め方に関し、学び・改善するうえで大変役立つ仕組みであり活動です。
- またモチベーションの向上にもつながります。



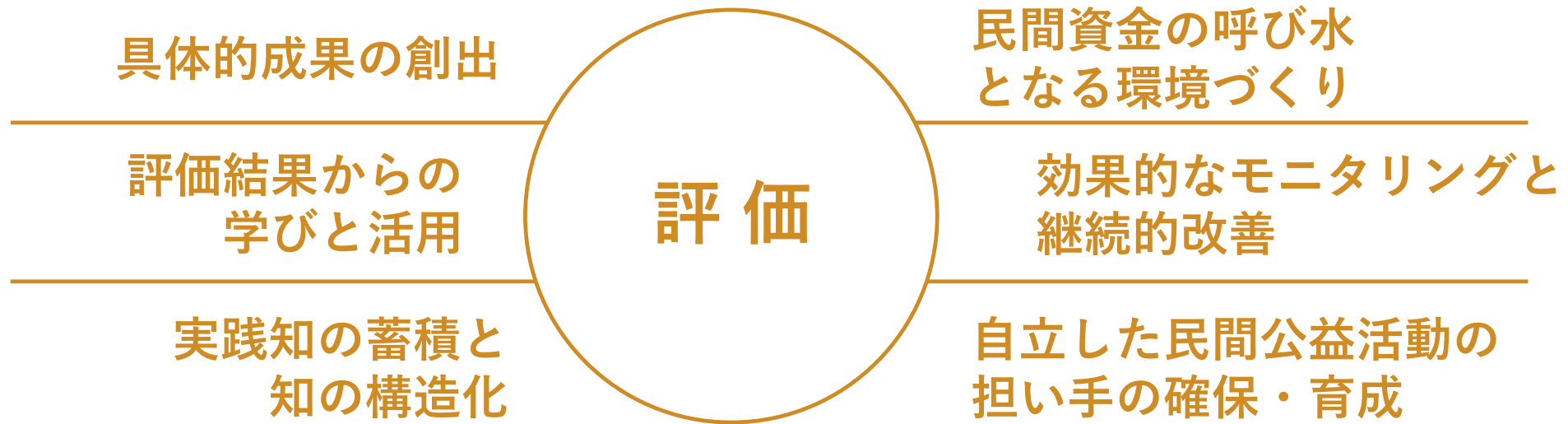
1. 休眠預金等活用における 評価の必要性和意義②



本「評価」は、従来から助成団体やNPO等活動団体が行っている評価の取組に、各団体の実情にあわせて適応させながら実施していただくことを考えています。



「評価(evaluation)」の語源は「価値(value)を引き出す(ex)」
より良くするために「自ら評価する（自己評価）」

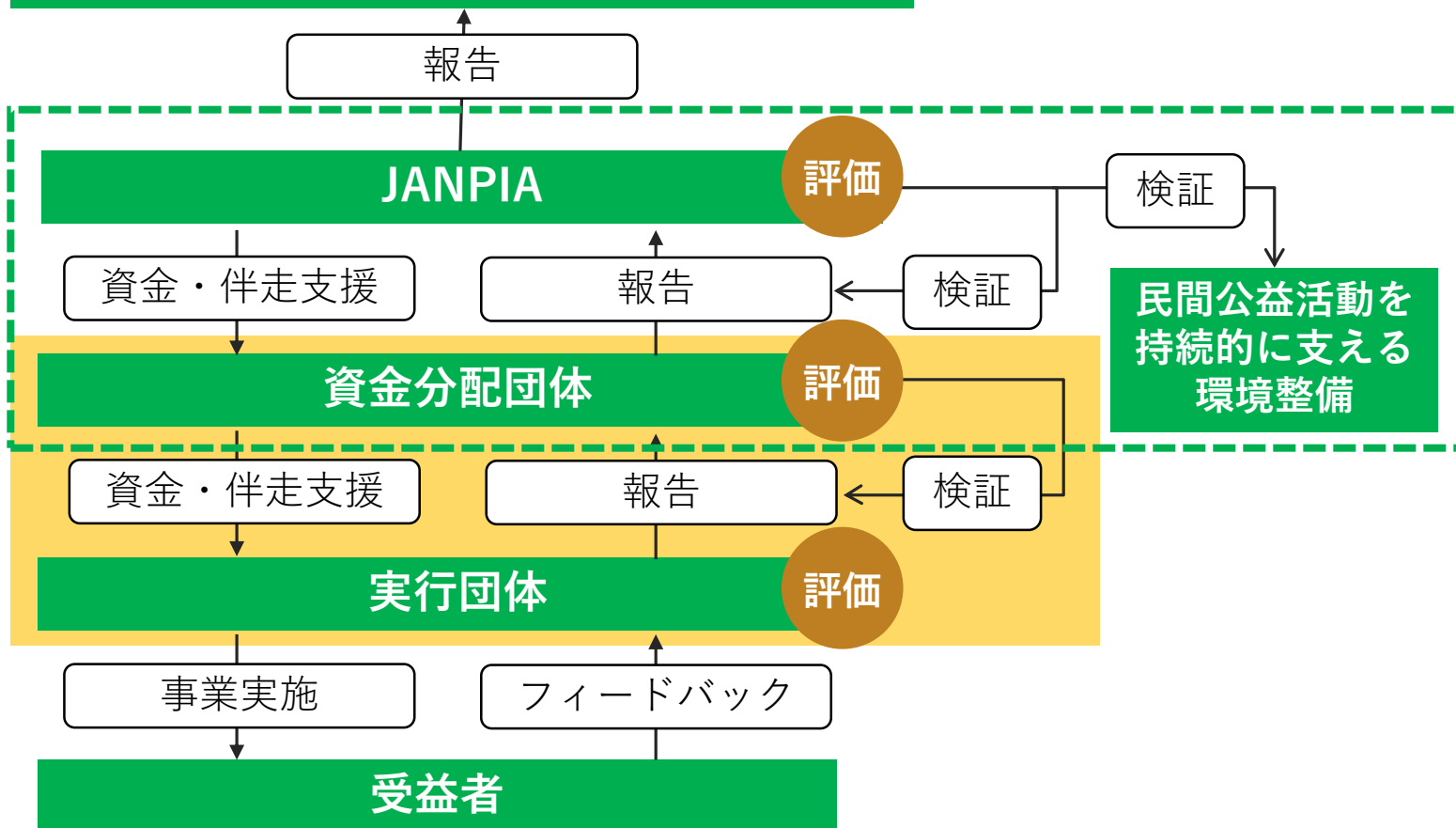


2. 休眠預金等活用における「評価の枠組み」の全体像



「評価指針」と「総合評価指針」から構成されています

国民・受益者（政府、審議会等を通じて）



総合評価方針

制度全体および指定活用団体（JANPIA）が行う評価の枠組みを定めるもの

+

評価指針

- ①資金分配団体と実行団体が行う評価の枠組みを定めるもの
- ②従来の各団体で行われている評価の取組に適応できるように工夫、配慮します

3. 「評価指針」とはなにか？



「評価指針」には評価を実施するための以下のような基本的内容を示します。

Who（主な使い手は誰か）

- ①資金分配団体
 - ②実行団体
- 「自己評価」が基本！
必要に応じて、「外部評価」を活用

What（具体的には何をするのか）

- ①事業に「評価プロセス」を組み込む
- ②「評価の原則」に従う

When（いつ評価を行うのか）

- ①評価のタイミングは4段階
事前・中間・事後・追跡

How（どのように評価するか）

- ①事業のタイプ、プログラムの種類、
ステージ等によって、必要に応じて
力点を変える「評価基準」を設定



「社会的インパクト評価」の定義

「社会的インパクト評価」とは、短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的な「変化」や「便益」等の「アウトカム(短期・中期・長期)」を定量的・定性的に把握し、当該事業や活動について価値判断を加える(評価を行う)こと（基本方針より抜粋）。

▶ **事業の成果を明らかにする評価のやり方。各団体、すべての事業で実施。**

「社会的インパクト評価」の目的（基本方針より）

1. 休眠預金等に係る資金の活用成果を積極的に情報発信することで、広く国民の理解を得ること
2. 評価結果を適切に予算や人材等の資源配分に反映することにより、民間公益活動を効果的・効率的に行うこと
3. 厳正な評価を実施することにより、民間公益活動全般の質の向上、独創的で有望な革新的な民間公益活動の発掘、民間の資金や人材の獲得等を促すこと

4-2. 評価指針 社会的インパクトの定義(参考)



ちなみに「社会的インパクト」とは？

前頁の再掲▶

短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的な「変化」や「便益」等の「アウトカム(短期・中期・長期)」のこと。

「社会的インパクト」は、社会的波及効果のみを示すものではない。

「社会的インパクト」の4つの「ない」

①長期的な結果のみではない

→ 短期的でも変化や
便益（インパクト）はもたらされる

③数値化（定量化）されたもの
のみではない

→ 定性的な情報で表すことも可能

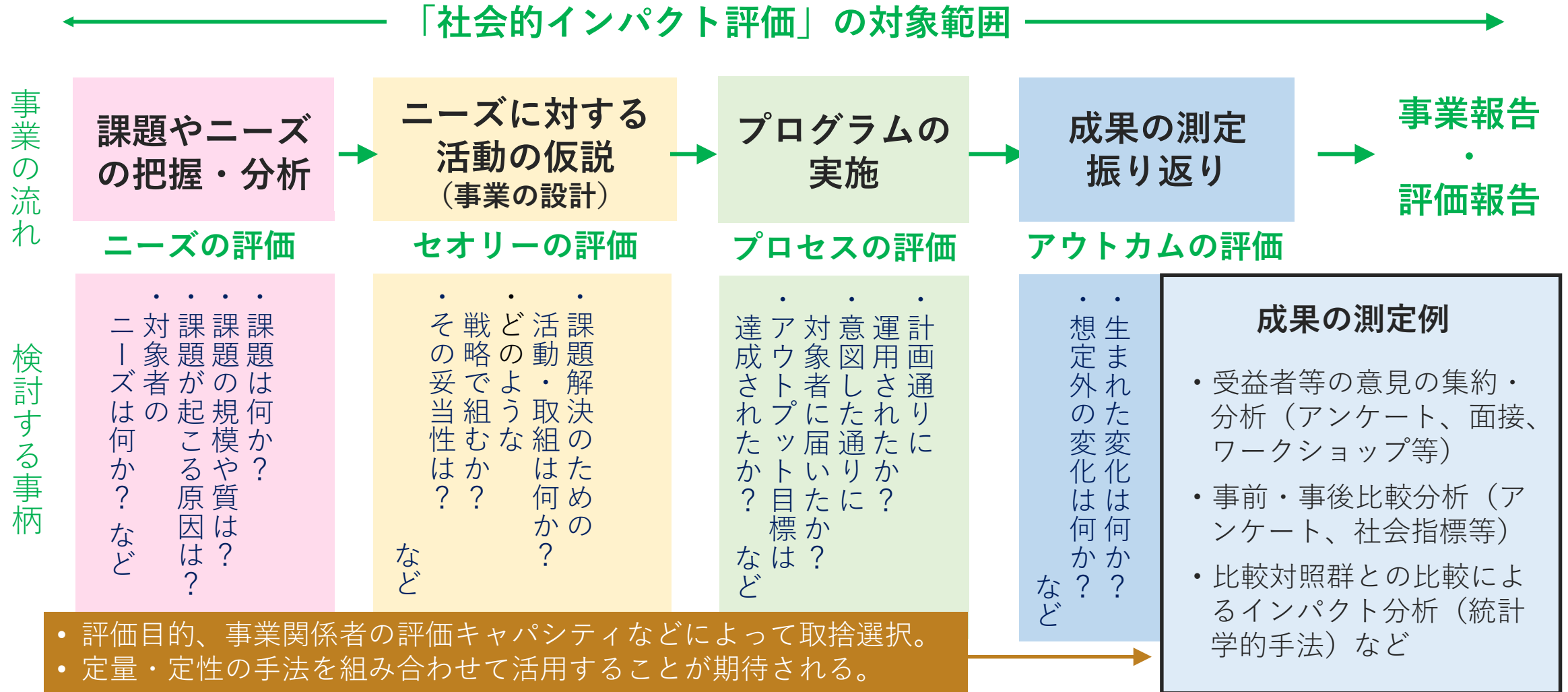
②大規模な取り組みにより
もたらされる変化のみではない

→ 小さい取り組みでもインパクトはだせる

④「正（ポジティブ）」の
変化のみではない

→ 「負（ネガティブ）」の影響にも着目する

4-3. 評価指針 社会的インパクト評価の流れ（個別事業）



4-4. 評価指針 社会的インパクト評価のプロセス

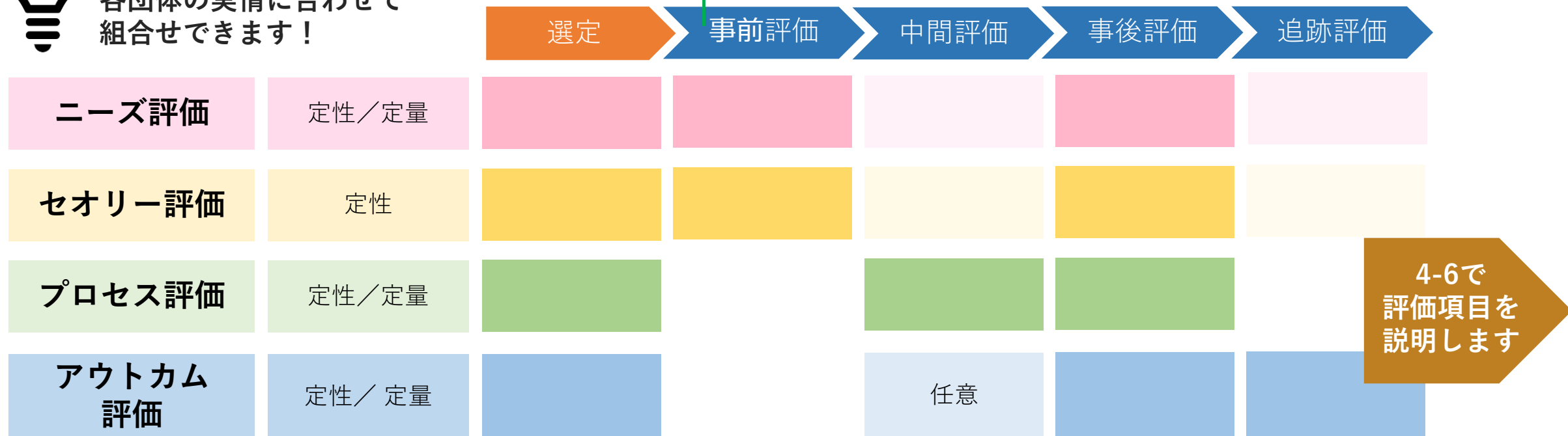


- 公募時に事業計画をつくる段階（選定）では、まず、仮設的にスタートします。
- 具体的には、事業開始後に、事前・中間・事後・追跡の各段階でニーズ・セオリー・プロセス・アウトカムのそれぞれの評価を行います。



図は、あくまでイメージで、各団体の実情に合わせて組合せできます！

採択後のオリエンテーションと一緒に各団体と作業予定です！



4-5. 評価指針 社会的インパクト評価の原則（参考）



本助成事業における社会的インパクト評価は、次の**原則**※¹を重視します。



※¹「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン（社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ発行）」における「評価の5 + 2原則」のうちの5原則を援用

※²ここでは、専門的には利害関係者（ステークホルダー、ステイクホルダー）を指しますが、分かりやすく平易な表現で示します。

4-6. 評価指針 評価基準の6つの領域と評価項目



評価基準は6つの領域からなり、評価項目は「必須項目」と各団体が任意に「選択項目」を設定できます。
資金分配団体と実行団体で一部異なります（グレー部分）。

評価領域	必須項目（例示）	選択項目（例示）
組織力	団体の事業運営力の成長を示す	団体の事業改善への意識がどの程度組織文化や仕事のやり方に浸透しているかを示す
ニーズ	取り組む社会的ニーズの重要性の根拠を示す	取り組む社会的ニーズの重要性に関し、問題構造の把握、問題分析の結果や課題の設定等を行い、その内容を示す
セオリー	実施する事業内容と事業目的との整合性をロジックモデル等の方法で明示する アウトカム・アウトカム指標を特定する	事業実施後に発現したアウトカムからロジックモデル等を見直して、セオリーの検証を行う
プロセス	プロセス管理・モニタリングをおこなう	モニタリング内容に、アウトプットの生成に影響を与えた貢献・阻害要因の検討を含める
アウトカム	事業実施により実際にどのようなアウトカム（正および負）が生じたか検証する 設定した成果目標に到達しているのか、想定した成果が発現しているか確認する	以下のような方法でアウトカムを把握する 易 対象者・受益者の意見をもとにした評価 ↑ 当該分野の専門家の意見をもとにした評価 ↓ 事前・事後比較デザイン等 難 準実験デザイン（大規模案件向け） 実験デザイン（大規模案件向け）
自立発展性（資金分配団体用）	組織の持続可能性（自己財源成長率など）を示す	地域や活動分野における知見やネットワークの蓄積を示す
効率性（実行団体用）	（プログラムにより異なる）	（プログラムにより異なる）

5. 評価を実践し全体のレベルアップを目指します



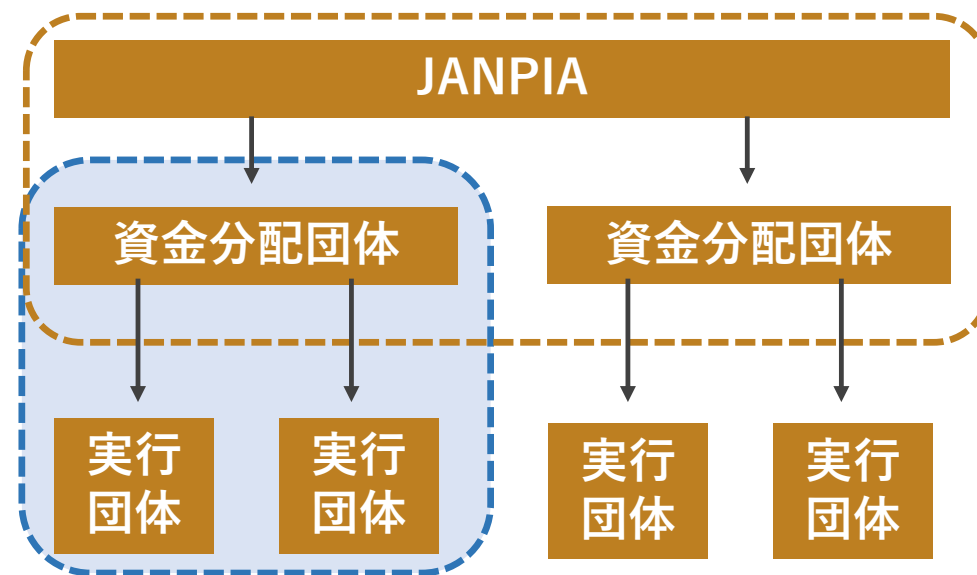
資金分配団体と実行団体による地域社会や活動分野の貢献の実効性を高める。

資金分配団体が実行団体へ行う「伴走支援」の
スキルアップをサポート！

事業	財務
事業立案、マーケティング、 プロジェクト管理など	財務・会計、資金調達 手法など
伴走支援におけるソフトスキル	
組織	評価
非営利組織論、 NPOマーケティング、 ソーシャルセクターの 理解など	社会的インパクト評価、 定量・定性分析、 評価的思考など

「評価」の実践をサポート！

- 資金分配団体に対する研修
(プログラム・オフィサー教育)
- 外部評価専門家による伴走型の評価支援 等



- 実行団体に対する研修
- 実行団体と外部評価専門家とのマッチングの支援 等

6. おわりに



休眠預金等活用において実行団体に求められることは
地域・分野の課題をよく知り、ステークホルダーと
手を取り合いながら、「価値を引き出す」ことです。

そのためにこの機会を好機と捉え「評価」を上手に活用してください。
長野県みらい基金としても、最大限サポートします。

決定後の事前評価の支援
(オリエンテーション時)

ガイドブック
(事例入り工夫)

研修
(実行団体向け)

その他
(助成事業の進展にあわせた
サポートメニュー)

評価に関するご意見・ご要望、お問い合わせはこちら▼

(公財) 長野県みらい基金 Tel: 0263-50-5535 Mail: kyumin-nagano@mirai-kikin.or.jp